

薬事委員会記録

日 時：2022 年 9 月 1 日(木) 16 時 00 分

場 所：医学部 1 階 小会議室

出席者：鈴木、白上、金森、吉倉、浅野、周、飯沼、大井、武内、渡辺、中村、清水、吉田(省)、
馬場、松本、佐野、早野、安田、飯原、丹羽、小森

代理出席者：森〔産婦〕

委任状提出：諏訪

欠席者：加藤(貴)、奥村、岩井、江頭、澤田、大橋、堀、加藤(博)、田辺、安藤、長瀬、吉田(明)、
矢部、二村、境、酒々井、塚田、

オブザーバー：坪井、岡田、渡邊

記録の承認

2022 年 6 月 2 日開催の薬事委員会の記録が承認された。

議 題

1. 医薬品の採用品目数について

現在の採用品目数と本会終了後の採用品目数について確認した。

2. 医薬品の採用について

3 品目（ヒスロン錠 5、バクタミニ配合錠、オムニパーク 300 注シリンジ 100mL）の採用を承認した。

3. 医薬品の継続試用について

5 品目（ベリキューボ錠 2.5mg、ツイミグ錠 500mg、ニトログリセリン静注 1mg/2mL「TE」、
ピヴラツ点滴静注液 150mg、バビースモ硝子体内注射液 120mg/mL）の継続試用を承認した。

4. 医薬品の新規試用について

2 品目（シルガード 9 水性懸濁筋注シリンジ、ケフレックスシロップ用細粒 200）について、
申請診療科および薬剤部より説明され、新規試用の承認可否の投票を実施した結果に基づき、
全て承認した。

5. 緊急購入からの採用医薬品について

6 品目（オキノーム散 2.5mg、レスタミンコーワ錠 10mg、ヘマンジオールシロップ小児用 0.375%、
ダラキューロ配合皮下注、テセントリク点滴静注 1200mg、トレアキシ点点滴静注液
100mg/4mL）について報告し、緊急購入医薬品からの採用（もしくは特定管理薬品として採用）
の承認可否の投票を実施した結果、承認された。

6. 医薬品の採用中止について

9 品目（アルジオキサ錠 100mg「あすか」、オキシコンチン TR 錠 40mg、オンジェンティス錠
25mg、カナマイシンカプセル 250mg「明治」、ジピリダモール錠 25mg「トーワ」、ゾフルーザ
錠 10mg・同 20mg、プラザキサカプセル 75mg・同 110mg）の採用中止を承認した。

7. 薬事委員会 WG での決定事項

①院外医薬品の院外採用について

15 品目（カログラ錠 120mg、アディノベイト静注用キット 500・同 1000・同 2000・同 3000、
ニコペリック腹膜透析液 1.5L 排液バッグ付き、ビレーズトリエアロスフィア 120 吸入、ケ
レンディア錠 10mg・同 20mg、レイボー錠 50mg・同 100mg、タブネオスカプセル 10mg、
ジエノゲスト錠 0.5mg「モチダ」、モイゼルト軟膏 0.3%・同 1%）の院外採用を報告した。

②院外医薬品の院外採用中止について

3 品目（イミグラン錠 50mg、ディナゲスト錠 0.5mg、シーブリ吸入用カプセル 50 μ g）の

院外採用中止を報告した。

③院内医薬品の緊急購入登録について

15 品目（ビジンプロ錠 15mg・同 45mg、サムタス点滴静注用 8mg・同 16mg、オゼンピック皮下注 2mg、ウィフガート点滴静注 400mg、プロウペス腔用剤 10mg、オンデキサ静注用 200mg、アキラルックス点滴静注 250mg、ビンゼレックス皮下注 160mg オートインジェクター、アラグリオ顆粒剤分包 1.5g、イズカーゴ点滴静注用 10mg、ユニツキシ点滴静注 17.5mg/5mL、オンダンセトロン注 4mg シリンジ「マルイシ」、メルカゾール注 10mg）の緊急購入の登録を報告した。

8. 医薬品の販売中止について

11 品目（エトドラク錠 200mg、エリスパン錠 0.25mg、グルコバイ錠 50mg、タフマック E 配合カプセル、フラビタン錠 10mg、フラビタン眼軟膏 0.1%、フラビタン点眼液 0.05%、リン酸水素カルシウム水和物「ヨシダ」、ロサルヒド配合錠 LD「モチダ」、ベトプティックエス懸濁性点眼液 0.5%、ベトプティック点眼液 0.5%）の販売中止を報告した。

9. 医薬品の販売中止に伴う製剤変更について

8 品目（コデインリン酸塩散 1%「第一三共」、ファモチジン散 10%「杏林」、メイスパン配合軟膏、パクリタキセル点滴静注液 30mg「サント」・同 100mg、フィルグラスチム BS 注 75 μ g シリンジ「モチダ」・同 150 μ g・同 300 μ g）の販売中止に伴う製剤変更を報告した。

10. 後発医薬品の切り替えについて

医薬品購入額削減と診療報酬額増加を目的として、後発品への更なる切り替えを進めることを説明し、20 品目の後発品への切り替えを報告した。

11. フォーマュラリーの運用について

経口ペニシリン系・セファロsporin系抗菌薬について、アモキシシリン、セファレキシン、セファクロルの 3 成分の使用推進を主として、アモキシシリンカプセル 250mg「トーワ」、サワシリン細粒 10%、ケフレックスカプセル 250mg、セファクロルカプセル 250mg「サワイ」、セファクロル細粒小児用 10%「サワイ」の 5 薬剤を病院推奨薬として提案した。当フォーマュラリーについては抗菌薬適正使用支援チームと協議し、抗菌薬適正使用の観点から作成されたことを説明し、承認された。

12. 医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況

2022 年 8 月に医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況の評価を実施した。西 4・西 5 階にて C 評価の項目があったが、業務上は安全に対応できており、必要に応じて業務手順書を改訂して対応することとした。

13. 薬剤師による処方代行オーダープロトコル運用について

2021 年 10 月 1 日から運用開始している、プロトコルに基づく薬物治療管理（PBPM）について、B 型肝炎の検査オーダーに関する運用方法の変更について提案し、承認された。

次回薬事委員会の開催日時は、2022 年 12 月 1 日（木）とした。